

平成30年度 高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会

木材加工部門実施要項

1 目的

若者の製造離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。工業立国である我が国が継続的に発展するには、産業の発展を支える技術・技能の維持・向上を図るとともに、若年技術・技能者を確保し、育成することが大切である。

そこで、全国規模の競技会に本県生徒を参加させることにより、県下工業高校生のレベルアップとともに、技術・技能尊重の社会的気運の醸成を図る。

2 開催日時

平成30年6月2日(土) 8:30～16:30

3 会場

鹿児島県立鹿児島工業高等学校 建築系実習棟2階北製図室

〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目57-1

4 主催

鹿児島県高等学校校長協会 工業部会

鹿児島県高等学校文化連盟(工業クラブ連盟)

5 主管

高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会実行委員会

6 共催

鹿児島県高等学校教育研究会 工業部会

7 後援

鹿児島県教育委員会

8 日程

受付・更衣 8:00～ 8:30 北製図室(受付)・ 測量実習室(男子更衣)
計画実習室(女子更衣)

競技場所抽選 8:30～ 製図室入口(抽選順番は受付順とする。)

工具準備 8:35～ 製図室 (作業場所・材料・工具の準備等も行う。)

開会式 9:20～ 9:45 製図室(全員が工具準備を終えたら始めます。)

準備 9:50～10:00 製図室

競技 10:00～13:00 製図室 審査に時間がかかるため、準備が整い次第開始する場合があります

審査・昼食 13:00～16:00

閉会式 16:00～16:30 製図室

9 開会・閉会式次第

- | | |
|---|--|
| 開会式（製図室）
・開会のことば
・責任者あいさつ
・来賓・審査員紹介
・閉会のことば | 閉会・表彰式（製図室）
・責任者あいさつ
・審査結果発表・表彰
・審査員講評
・閉会のことば |
|---|--|

10 審査委員

審査員名	所属団体・企業名	所属課・役職
袈谷 勇司 様	有限会社イヤダニ工務店	代表取締役
赤瀬川隆樹 様	赤瀬川建設	代表取締役
上村 大作 様	宮之城高等技術専門学校	技術主査

11 審査規定 別紙課題をご覧ください

12 表彰

最優秀賞（1位），優秀賞（2，3位）優良賞（4～5位）として表彰する。ただし，参加数が10名に満たない場合は，部門で競技し参加人数の半数を目途に表彰する。

※ 優勝者は，第17回高校生ものづくりコンテスト九州大会への参加資格を得るものとする。

13 参加者

番号	学校名	学科	学年	競技者氏名	担当者
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

複数参加優先順位 1 出水工業 2 加治木工業 3 鹿児島工業 4 薩南工業 5 鹿屋工業 6 れいめい
 （建築部会以外の参加は前年度成績順位に関係なく1名のみの参加しかできません）

14 会場

競技会場：建築系実習棟2階北製図室

更衣室：測量実習室（男子）、計画実習室（女子）

15 大会役員

- ・ 実行委員長

鹿児島県高等学校長協会工業部会長（鹿児島工業高等学校長）

田代裕一郎

- ・ 実行副委員長

鹿児島県高等学校文化連盟工業クラブ専門部長（加治木工業高等学校長）

満丸 浩

- ・ 木材加工部門競技責任者

川内商工高等学校長 有上 英夫

- ・ 木材加工部門大会運営委員 鹿児島工業高等学校 建築系職員

各学校参加選手引率教職員

他関係教職員

16 競技課題

第18回 高校生ものづくりコンテスト全国大会「木材加工部門」に基づく。

ただし、県大会独自の規定については、別紙の内容をもって差し替える。

17 問い合わせ・連絡先

鹿児島県立鹿児島工業高等学校 TEL 099-222-9205 FAX 099-222-9206

〒890-0014 鹿児島市草牟田二丁目57番1号

高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会実行委員会 木材加工部門競技担当者

鹿児島工業高等学校 建築系 野村 裕英

第17回 高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会

「木材加工部門」課題

課題

持ち込んだ材料で、仕様及び課題図に従って墨付け、加工、組み立てを行いなさい。

課題図

全国大会のホームページにて確認してください。

競技時間

2時間30分（一次審査に要した時間は含まない。）

持ち込み材料・作業台等

部 材 名	寸法または規格	数 量
桁・小屋梁	90×90×1150	1本
束・母屋	90×90×850	1本
垂木	30×36×1150	1本
作業台（うま）	105×105×400	2本
削り台（注）	90×90×500	1台

※競技者は、必ず上記材料を持ち込み、大会責任者・審査員の確認を受ける。

持ち込み材料について

90×90材は杉の芯持ち材とします

木口は鼻切りが確認できるよう荒切り状態であること

加工目的の印・傷・線などが無いこと

うまは上記の通りの寸法とするが、滑り止め材の貼り付けのみ可

削り台も、うま同様上記寸法とするが、コンパネへの引っ掛け桟及びはね虫、または、はね虫に変わるものか、引っ掛け桟と同じ材のみ可とし、細工のない直方体の材とし、滑り止め材の貼り付けのみ可とします。

※上記以外の側板や、角度が付いた材など、いかなる細工も全て不可とし、万一その様なものを持ち込まれた場合は別の予備材料と交換することをご理解ください。

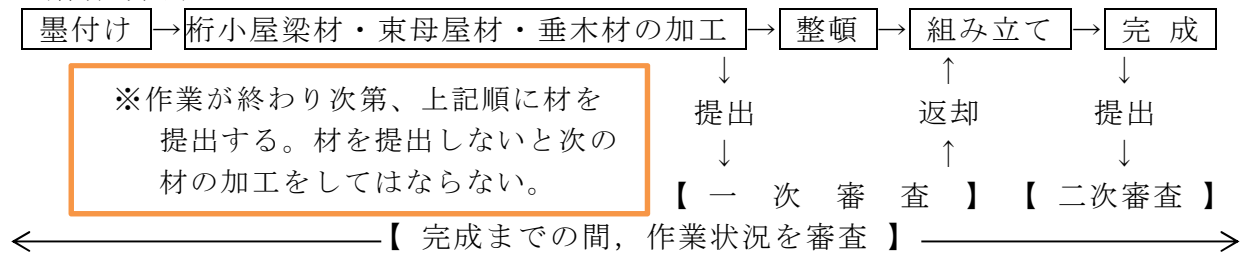
会場に準備されているもの

名 称	寸法または規格	数 量	備 考
作 業 床	作業面積 1800 四方 にコンパネ1枚	1枚 (エリア内移動可)	抽選にて決定
提出板	約 300×700 のコンパネ	1枚	移動不可
釘	65・50	各4本	
計算用紙	A4	1枚	持ち込み不可

※ 上記以外で、練習等に必要なのは各自で持参してください。但し、競技前に室外に出してもらいます。

仕様

〈作業順序〉



作品の提出

- ① 選手は、各部材の加工が完了した時点で、そのつど所定の位置に提出する。審査時間短縮のため、まとめでの提出は禁止し、一部材ずつ完成させ提出してから次の部材の加工に移り、最後に加工提出する部材については垂木とします。（終了時の計時準備のため）
 - ※競技委員が競技者番号の記載されたシールを各部材に貼り付け、スタッフが審査場所に運ぶ。（一次審査）
 - ※全部材提出後は、作業エリア・道具の片付けを行い、組み立て作業に入れる状態で待機する。
 - ※提出後の部材は、一次審査を終え返却されるまで触れてはいけない。
- ② 組み立てが完了した選手は、手を上げて大声で申し出る。その後、スタッフが審査場所に運ぶ。（二次審査）
 - ※提出後は作業エリアの清掃、道具の片付けを行い、競技終了まで待機する。

注意事項

- ・各部材毎に加工が済み、作業場所脇にある所定の位置に置かれた時点で一次審査に入る。係役員が選手に確認した上で審査室へ運ぶものとする。
- ・審査内容は、完成度・技術度・作業態度とし、各部門競技規定に示された審査基準に準ずる。
- ・同点の場合は、競技時間の短い選手を上位とする。
- ・競技エリア内へ熱中症対策の飲料水持ち込みは可。
- ・道具箱を含む全てのものはコート内、または競技会場の外に置くこと
- ・その他不明な点がありましたら競技担当者に直接おたずねください。